

省エネルギー建築を目指した建築計画

意匠

人が心地よいと感じる空間を
自然の力とともに創ります

- 1-1 自然光と自然通風を積極的に利用可能な開口計画
- 1-2 断熱性能の高い外皮計画

機械設備

空調負荷を最小化し
設備容量を最適化します

- 2-1 高効率空調の採用
- 2-2 全熱交換機の採用
- 2-3 換気扇に DC ブラシレスモーターを採用
- 2-4 節水器具・自動水栓の採用

電気設備

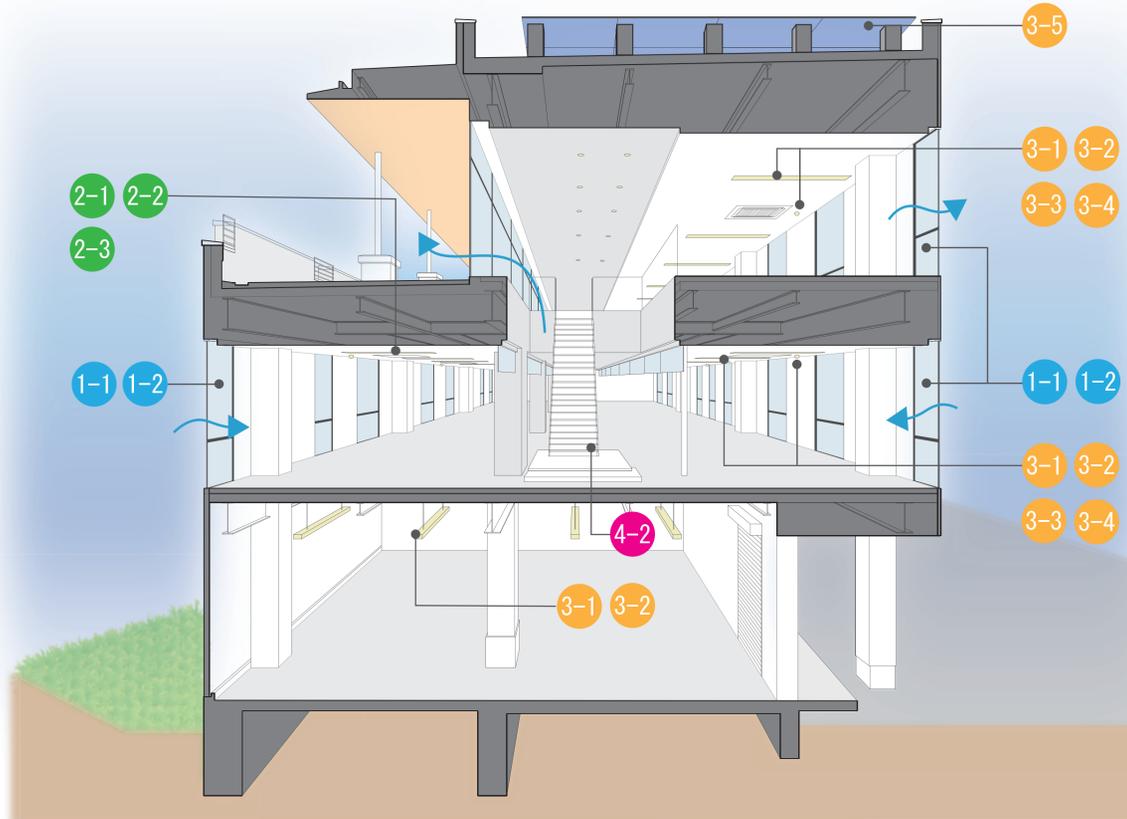
照明制御により
エネルギー消費量を削減します

- 3-1 全館 LED 照明
- 3-2 初期照度補正制御
- 3-3 センサーによる照明制御
- 3-4 タスク & アンビエント照明
- 3-5 太陽光パネルの設置

その他

エネルギーの見える化等により
省エネを促します

- 4-1 BEMS モニターによる見える化
- 4-2 積極的な階段利用を促す動線計画

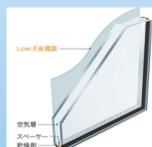


省エネルギー建築を達成するための主要技術

- 1-1 自然光と自然通風を積極的に利用可能な開口計画
東西面の窓は、開口面積を抑えつつ、眺望・採光・通風を確保します。



- 1-2 断熱性能の高い外皮計画
Low-e ガラスの採用により、日射取得を低減し、執務空間の熱負荷低減を図ります。



- 2-1 高効率空調の採用
高効率ビル用マルチ、高効率ファンを採用し、消費エネルギーを削減します。
- 2-2 全熱交換機の採用
空調された室内の熱回収を図り省エネ効果を図ります。
- 2-3 換気扇に DC ブラシレスモーターを採用
従来のモーターに比べ、消費電力が少なく、省エネ運転が可能です。

- 2-4 節水器具・自動水栓の採用
節水器具を採用することで水使用量を削減し、上下水道の料金削減を図ることができます。



- 3-3 センサーによる照明制御
人感センサー、明るさセンサーにより照明の自動点滅・制御を行います。
- 3-4 タスク & アンビエント照明
局部的に作業面を明るくすることで、消費エネルギーを削減します。
- 3-5 太陽光パネルの設置
発電した電力は所内利用とすることで、ピークカットと省エネルギー化を図ります。



- 4-1 BEMS モニターによる見える化
「Building Energy Management System」により、建物内で使用する電力使用量等を計測蓄積、見える化を図ります。



- 4-2 積極的な階段利用を促す動線計画
積極的な階段利用を促し、エレベーターを極力使用しない計画とします。

